

解放地域への「偉大なる帰還計画」の進捗

アゼルバイジャン政府が急ピッチで進める解放地域への住民帰還計画について、本年 4 月 17 日から 10 月 20 日の期間における当地国営メディア(Azertag 社)の報道を元に地域別の帰還者数を整理したので以下のとおり紹介します。

- ラチン県ラチン市:1135名(295世帯)
- ラチン県ザブフ村:88 名(20 世帯)
- フズリ県フズリ市:928 名(258 世帯)
- ゼンギラン県アガル村:649名(133 世帯)
- テルテル県タルシュ村:90 名(20 世帯)

なお、帰還住民の人数が最も多いラチン市では、既に住宅 800 軒が建設され、初等教育及び就学前教育用施設の建築が完了しています。フズリ市では、38 棟、846 世帯分の集合住宅が建設されたのに加え、ウズベキスタン政府の支援により建設された教育施設その他、24 時間医療サービスを行う医療施設も整備されました。その他の帰還地においても、住宅のみでなく教育及び医療施設など生活インフラが順次整備されており、帰還の準備が順次整えられています。



フズリ市に建設された教育施設



ゼンギラン県アガル村住宅

(以上)